

ますかっと 児童発達支援 支援プログラム

作成日 令和7年1月31日

法人（事業所）理念	障害児・者、高齢者の思いを受け止め、個性を尊重し、幸せと生きがいのある生活の実現に努めます。 家族の思いに寄り添い、少しでも長く障害児・者、高齢者が在宅で過ごせるように努めます。 職員は、利用者の気持ち、保護者の気持ちを大切に、利用者が自己実現を図れるように努めます。 地域において、共に生きていく環境を実現するために、施設の機能を積極的に提供します。		
支援方針	人との信頼関係を育てるために、子どもたち一人ひとりをしっかりと受け止め、支えていく。 子どもたちがのびのびと自分らしくふるまえるよう、職員の在り方や環境整備を考えて療育を行う。 各家庭の多様なニーズを敏感にとらえ、各家庭にそった支援を行う。		
営業時間	10:00～16:00	送迎の実施の有無	あり

本人支援		
①健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態の維持、改善 生活リズムや生活習慣の形成 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な心身状態の把握（視診、検温、バイタル測定）、リハビリテーションの実施 睡眠、食事、排泄、衣服の着脱等の生活習慣形成支援、適切な医療的ケアの実施 一人一人に応じた衣服や室温の調節、病気の予防、換気、安全の配慮 特性、身体各部の状態（補助機器等）の理解と補助機器使用の支援
②運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢と運動、動作の基本的技能の向上及び補助手段の活用 感覚の活用及び、特性偏りに対する支援 	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢保持、上肢・下肢の運動、動作の改善・習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化のための活動支援やリハビリテーションの実施 視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、前庭覚等の五感に働きかける遊びを通しての支援
③認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 認知の発達、特性の理解と対応 	<ul style="list-style-type: none"> こだわりや偏食等に対する支援 遊びや活動を通しての物の機能や属性、形、色、音、大小、数量、重さ、空間、時間等の概念の形成
④言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションの基礎的能力の向上 コミュニケーション手段の選択と活用 人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得 	<ul style="list-style-type: none"> 障害種別・程度に応じて、指さし、身振り、表情、各種機器、視線等の様々なコミュニケーション手段を用いての円滑な意思伝達につなげる支援 共同注意の獲得等を含めたコミュニケーション能力の向上支援
⑤人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 愛着の形成と安定 他者とのかわわりと集団への参加 	<ul style="list-style-type: none"> 職員との愛着の形成、安心できる場の提供 環境に対する安心感、人に対する信頼感、自分に対する信頼感を育む支援 共に活動することを通して、互いの存在を認め合い、他者とのつながりを感じることができる支援

本人支援における事業所の活動内容と5領域との関連について

活動内容	活動のねらい	実際に行っている遊びの内容	配慮事項
散歩・戸外遊び	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な季節の自然を五感で感じる。②・③ ・遊具などで遊び、自分の体を保とうとしたり、揺れを感じることを楽しむ。①・② 	散歩、公園へお出かけ、遊具、水遊び	一人一人の体調や気候・天候を考慮しながら、無理のない範囲で出かけたり、戸外で遊んだりする。
感触遊び	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な感触を手足や全身で感じながら楽しむ。②・③ ・手先を動かして遊ぶ。② ・色や形、温痛覚などがわかる。②・③ 	花紙遊び、新聞紙遊び、寒天遊び、砂遊び、粘土、泡遊び、氷遊び、スライム、お団子作り、布遊びなど	苦手な感触も無理のないように触れやすい方法から遊びながら、少しずつ慣れていけるようにしていく。
絵本の読み聞かせ	<ul style="list-style-type: none"> ・季節に関連した絵本やお話を見る。③ ・いろいろな言葉にふれたり、視覚で楽しんだりする。④ ・職員や友達とやり取りを楽しむ。⑤ 	図書館へお出かけ、絵本、パネルシアター、人形劇、おはなし遊びなど	季節や行事に応じた絵本や、それぞれの子どもが興味や関心をもって見ることでできるような絵本を選び、抑揚をつけたり、スキンシップをとったりしながら読むようにす
製作・描画遊び	<ul style="list-style-type: none"> ・季節を感じながら作ったり、描いたりする。③ ・描いたり、作ったりしたものを友達と見せあい、できたことへの達成感を味わう。⑤ ・作ったもので友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。④・⑤ ・手先を動かして描いたり、作ったりする。② 	季節の製作、描画、絵の具遊び、おもちゃ作り、楽器作り	一人一人の子どもの発達に応じて製作するものややり方を変えるようにする。また自分で作ったものや描いたものを見せあったり、頑張った場面を周りに伝えたりしながら、自信がもてるようにしていく。
運動遊び	<ul style="list-style-type: none"> ・身体を動かし、筋力を維持する。①・② ・体の動かし方がわかったり、動けた楽しさを感じたりする。②・③ 	体操、トランポリン、バランスボール、ボールプール、プール、風船バレー、ボール遊び（ボウリングや的あてなど）、サーキット遊び、いろいろな玩具で遊ぶ	それぞれの体調や姿勢に配慮し、安全に動くことができるようにする。発達状況に応じていろいろな器具や用具を使い、普段あまり使うことのない筋力を使うことができるようにする。
音楽遊び	<ul style="list-style-type: none"> ・友達や職員と触れ合って遊ぶことを楽しむ。⑤ ・いろいろな楽器の音のおもしろさに気づく。②・③ ・手足を動かしたり、リズムに乗って身体を動かしたりする。② 	季節の歌、手遊び、ふれあい遊び、わらべうた遊び、楽器遊び、表現遊び（ダンス、リトミックなど）	季節の歌や手遊び・ふれあい遊びなどは、はじまりの会で継続的にできるようにし、親しみをもって回を重ねることにより自分でできることが増えるようにしていく。楽器はそれぞれの手先の使い方に応じて音が自分で鳴らしやすいように、ひもなどをつけるなど配慮する。
体験	<ul style="list-style-type: none"> ・季節を五感で感じる。②・③ ・友達や職員と一緒に遊んだり、体験したりする楽しさを感じる。④・⑤ ・地域の人と触れ合う。⑤ 	いちご狩り、スノーズレン、クッキング、買い物、お芋ほり、虫取りごっこ、おみせやさん遊び、おはなし遊び	普段戸外に出て体験することが難しいものも取り入れながら、友達と一緒にイメージをふくらまし様々な経験が積めるようにしていく。発達状況に応じてごっこ遊びなど、人とのやりとりの楽しさを感じられるような遊びを提供していく。

季節に応じた行事	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の由来などを知る。③ ・友達と一緒に年間の行事を楽しむ。⑤ 	お楽しみ会、キャンプ体験、七夕、夏祭り、運動会、ハロウィン、お正月遊び、書き初め、節分、父母療育、ひなまつり、卒園・修了式	行事の由来は視覚からもわかりやすく、絵本やパネルシアターを使って伝えていく。行事の準備は子どもたちと一緒にしながら盛り上げ、楽しめるようにしていく。
個別療育 (機能訓練)	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な動作や歩行、日常生活動作などの運動機能や動作能力の発達の促進。①・② ・心肺機能の低下や関節拘縮・変形を防ぐ。① 	理学療法士による個別の機能訓練、または理学療法士の指導を元に看護師や保育士、児童指導員が個別に機能訓練を実施	痛みに対する配慮、関節脱臼への注意、痙攣発作による筋緊張亢進を抑えるように筋収縮、バランスを引き出していく。

家族支援	<p>家族のニーズに応じ、児童の発達や家庭生活、集団生活、ケア、きょうだい児に関する相談・助言等を行う。</p> <p>保護者同士、家族同士が関わりや繋がりをもてる機会として、交流会や親子参加のイベントを実施する。</p> <p>送迎を行い、ご家族の負担軽減を図る。</p>		
移行支援	<p>ライフステージの切り替えを見据えた地域の生活の場や育ちの場との交流及び情報交換をする。</p> <p>地域とつながりながら日常生活を送るため、地域住民と交流する。</p>		
地域支援 地域連携	<p>各関係各所との連携(市町村、相談支援事業所、学校、医療機関、子ども家庭相談センター、保健所)都内・市内通所事業所連絡会への参加。</p> <p>近隣の児童発達支援事業所や放課後等デイサービスとの連携や、将来を見据えて成人の事業所との繋がりをもつ。</p>		
職員の質の向上	<p>法定研修およびテーマ別勉強会の開催。</p> <p>外部研修へ積極的に参加し、専門的知識を深める。</p>		